

大分類	中分類	小分類	細分類	業務No.	実施時期			業務内容	実施		業務の流れ・プロセス・具体的手続き 下線：事業者 《 》：市と事業者が協同するもの	要求水準
					～ 建物 引渡し	～ 開館	開館 以降		市	事業者		
1 展示 計画 ・ 設計	展示コンセプト・ フォーマット	デザインフォーマット		展_1	○	○	統一感のある展示とするためのデザイン等を策定する	○	●	企画>素案>《検討>選定》>調整>図書作成	・展示場内のビクトグラム・サインのデザイン、解説パネルのスタイル、デジタルサイネージ等の来場者向けインターフェースを作成すること。 ・多言語対応を想定したものとすること。 ・デザインは複数案を例示し、市と協議の上で制作すること。	
		用語統一		展_2	○	○	展示中で使用される考古学用語を統一する。	○		用語抽出>検討>確定>図書作成	・市による直営部分	
	展示設計全般	設計業務		展_2-1	○	○	本施設の設計及び建設の全般についての協議を目的とする「設計・建設協議会」を開催する。	○	●	設計業務>《設計・建設協議会》>設計に反映	・設計及び建設業務の間、千葉市及び建築事業者と協議会を通じて意思疎通を図ること。	
	常設展示設計全般	展示資料選定・調査	外部保管資料	展_3	○	○	資料実見・調査と借用可否検討・協議	○		借用候補目録作成>資料調査（借用・運搬協議）>運搬計画策定	・市による直営部分	
			市保管資料	展_4	○	○	展示対象資料を選定する。	○		対象資料選定・抽出>運搬計画策定	・市による直営部分	
		解説グラフィックス・ 展示パネル類		展_5	○	○	解説グラフィックスの原稿執筆、デザイン作成	○	●	原稿作成>《デザイン検討》	・市が作成した原稿を基にデザイン案を提示し、協議・検討すること。	
	探求型展示「加曽 利ラボ」設計	展示設計 全般		展_6	○	○	ストーリー展示となる探求型展示「加曽利ラボ」の設計	○	●	企画立案・展示計画案作成>《協議・常設展示計画の決定》>展示設計>計画図書作成	・市が策定する常設展示計画について、市と十分協議するとともに、これに基づき展示設計をおこなうこと。	
		構成とストーリー		展_7	○	○	展示ストーリーの策定	○		構成とストーリー案作成>検討・委員等了解>修正>展示ストーリー策定>展示原稿執筆	・市による直営部分	
	没入型展示「縄文 体験空間」設計	展示設計 全般		展_8	○	○	演出空間となる「縄文体験空間」の設計	○	●	《構成とコンテンツ案作成》>検討・委員等了解>修正>《展示計画案作成》>《協議・常設展示計画の決定》>展示設計・《コンテンツ考案》>計画図書作成	・実際に触ることができる資料とXR技術や空間演出との連携を駆使し、縄文とSDGsを楽しみながら学べるエデュテイメント空間の提案を期待している。 ・最新の調査研究内容を反映した縄文時代のムラを再現した空間演出を企画すること。 ・調査研究の内容・原稿等については市の学芸員と連携すること。	
		XR（AR・VR・MR）コ ンテンツ等策定		展_9	○	○	デジタル技術による体験プログラムの立案・計画策定	○	●	《企画提案》>《内容検討・方針決定》>《校正》>《コンテンツ開発要件定義》	・計画段階として、開発要件までを定義し、実現可能なものとすること。	
対話型展示「未来 ラウンジ」設計	展示設計 全般		展_10	○	○	対話型展示「未来ラウンジ」の設計	○	●	《企画立案・計画案作成》>《協議・常設展示計画の決定》>展示設計>計画図書作成	・対話・休憩・レファレンス、遠隔地との接続等、多様な楽しみ方、学びを提供できる空間を提案すること。		
「史跡ガイド ス」設計	展示設計 全般		展_10_2	○	○	特別史跡加曽利貝塚のガイド施設	○	●	《企画立案・計画案作成》>《協議・常設展示計画の決定》>展示設計>計画図書作成	・加曽利貝塚の見どころ紹介や、見学ルート案内などを行ない、博物館の来館者が、史跡に向かいたくなる施設とすること。 ・文化庁の補助金申請に際し、市の指示する必要な資料を提出すること。		

展示設計・施工業務に関する要求水準

大分類	中分類	小分類	細分類	業務No.	実施時期			業務内容	実施		業務の流れ・プロセス・具体的手続き 下線：事業者 《 》：市と事業者が協同するもの	要求水準
					～ 建物 引渡し	～ 開館	開館 以降		市	事業者		
2 展示制作	常設展示制作 全般	解説グラフィックス・ 展示パネル類		展_11	○	○		解説グラフィックス類の印刷、パネル製作	○	●	ラフ・イラスト作成《協議・校正》制作	・必要に応じてイラストを追加したラフを作成し、市と協議・校正のもと、制作に入ること。
		レプリカ・復元模型の 作成		展_12	○	○		展示用、またはハンズオン体験用のレプリカ・復元模型を作成する。	○	●	作成品の選定《協議・方法検討》模造用実物借用《設計《協議・校正》》作成（業者への委託含む）	・市と作成対象、使用方法を協議の上、適切な制作物の種類・材質などを提案すること。 ・設計後、市と協議の上、作成に入ること。
		展示用映像コンテンツの 作成		展_13	○	○		展示室上映用映像や、操作パネル用のコンテンツの作成	○	●	《企画立案》《原稿・コンテ等作成》撮影・編集《操作画面等作成》《確認》	・撮影にあたり、原稿・コンテ等を作成して協議の上、撮影に入ること。
	展示資料搬入	外部保管資料		展_14	○	○		常設展示に係る資料の借用を行う	○	●	輸送手配《梱包》輸送《開梱》収納・設置	・必要に応じて美術梱包輸送を手配すること。
		市保管資料		展_15	○	○		常設展示に係る資料の移転を行う	○	●	輸送手配《梱包》輸送《開梱》収納・設置	・必要に応じて美術梱包輸送を手配すること。
	探求型展示「加曽利ラボ」制作・施工	展示制作		展_16	○	○		設計に基づき、探求型展示「加曽利ラボ」の展示を制作する。	○	●	資材調達《制作・施工》《確認》《修正》 《資料搬入》《設置》実物資料設置	・資料搬入・設置は市の立会のもと、共同して行なうこと。
	没入型展示「縄文体験空間」制作・施工	XR (AR・VR・MR) コンテンツ等 作成・展開		展_17	○	○		要件定義に基づき、「縄文体験空間」に展開する各デジタルコンテンツを造作する。	○	●	システム設計《開発》制作・施工《テスト・試運転》デバッグ・本番展開	・展示施工と工程を調整し、遅滞なく展開できるようにすること。 ・施設試運転時までにバグが確認された場合、修正に応じること。
		展示制作		展_18	○	○		設計に基づき「縄文体験空間」の展示および空間演出等を造作する。	○	●	資材調達《制作・施工》確認《修正》 《資料搬入》《設置》施工完了 《テストケース作成》《試運転》修正	・資料搬入・設置は市の立会のもと、共同して行なうこと。 ・デジタルコンテンツまで導入後、実際の使用に則して試運転を行うこと。
	対話型展示「未来ラウンジ」施工	空間制作		展_19	○	○		設計に基づき「未来ラウンジ」の内装等を造作する。	○	●	資材調達《制作・施工》確認《修正》 《資料搬入》《設置》	・資料搬入・設置は市の立会のもと、共同して行なうこと。
	「史跡ガイダンス」施工	展示制作		展_19_1	○	○		設計に基づき「史跡ガイダンス」の展示を制作する。	○	●	資材調達《制作・施工》確認《修正》 《資料搬入》《設置》	・資料搬入・設置は市の立会のもと、共同して行なうこと。 ・文化庁の補助金申請に際し、市の指示する必要な資料を提出すること。